

「語りもんそ」

Vol.33 平成26年10月31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪
カフェ ミニコンサート

出演（公財）鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

（入場料は無料ですが、要ワンオーダー）

●9月28日（日）は、春花美咲さん（リコーダー）と室屋麗華さん（ピアノ）のお二人で、“無伴奏チェロ組曲第1番より プレリュード”“四季より 冬 第1楽章”“イギリスのナイチンゲール”“コンドルは飛んでいく”など8曲が演奏されました。



春花美咲さん（リコーダー） 室屋麗華さん（ピアノ）

○お客様に感想をお聞きしました

・諏訪和歌子さん 鹿児島市
「リコーダーの演奏を間近でじっくり聴くのは初めてで、その音色の素敵さにうっとりしてしまいました。“コンドルは飛んでいく”は、ソプラノ・アルト・テナーの3種のリコーダーの演奏で自分がアンデスの山にいるような感動を覚えました。室屋さんのピアノも爽やかでとても素敵な演奏でした」



出演者と諏訪和歌子さん（左端）真優（まひろ）さん（小学4年）

●10月19日（日）は、和田梨奈さん（フルート）と安楽聡子さん（ハープ）のお二人で、ヨハンシュトラウスⅡ世作曲“トリッチ・トラッチ・ポルカ”、ドビュッシー作曲“アラバスク第1番”、さだまさし作曲“秋桜”、マックスウエル作曲“ひき潮”、バッハ作曲“フルートとハープのためのソナタ”、アイルランド民謡“ダニー・ボーイ”、ショパン作曲“小犬のワルツ”、アンコール曲に“また君に恋してる”など8曲が演奏され、お客様から「お二人の息のあった演奏はとても素敵で心地よい爽やかなひと時でした」などの感想をお聞きすることができました。



安楽聡子さん（ハープ） 和田梨奈さん（フルート）

日本舞踊講座

宝山ホール 多目的ルーム

●初級コースは、7月12日・13日・21日・8月30日・31日の5回ありました。

講師は吾妻流師範 吾妻成莉穂先生（かこしま古今花舞台代表）。

日本舞踊の基礎として①一人で着物を着る、着物をたたむ、お辞儀の真・行・草、座る、立つ、歩く、立ち姿、マナー、②基本の動きとして女の歩き方・男の歩き方、首の使い方、その他のさまざまな動き、③日本舞踊の小道具と使い方。これらを身につけ女性がより美しく輝ける所作を学習しました。

8月31日の発表会は講座を通して学んだ日本の美しい歌曲“春の海”を踊りました。

○受講者に感想をお聞きしました

・山田梨南子さん 鹿児島市
「着物も一人で着ることができない私が初めての日本舞踊に挑戦するのは不安でしたが、大好きな祖母が見立ててくれた浴衣で参加しました。

先生に厳しい中にも優しく指導していただき、着物を一人で正しく着られるようになり、女性らしい所作を身に着け、礼儀の中にある“型”を教えてくださいいただきとても嬉しかったです。そして日本舞踊の見方を身につけられたことは幸いでした」



発表会での山田梨南子さん（中央）

●中級コースは、初級講座からステップアップして9月27日・28日・10月5日の3回あり古典舞踊（歌舞伎舞踊）の曲中の登場人物に挑戦しました。

10月5日の発表会では、①長唄“賤の芋環”（しずのおだまき）より静御前が源義経を思って源頼朝の前で舞う心を表現する。②初級コースで学んだ“春の海” ③平成27年1月27日（月・祝）公演の、

ガラ・フェスティバル ミュージカル「ヤジロウと海乱鬼^{かい}」で舞う創作舞踊を披露しました。



静御前を舞う除川慶子さん（左）と山田梨南子さん（右）



海乱鬼^{かい}（海賊）の荒々しさを表現した創作舞踊

財団5施設連携企画

みてきいてあそぼう！

鹿児島県文化振興財団体験フェア2014

9月14日（日）・15日（月・祝）

宝山ホール（アート・ギャラリー）

（公財）鹿児島県文化振興財団の幅広い活動を広く県民に知ってもらい、より身近に感じていただくために財団が管理する4つの施設（宝山ホール・みやまコンセル・霧島アートの森・上野原縄文の森）と埋蔵文化財調査センターの連携事業として、日頃各施設で実施している事業を体験できるイベントや、各施設を紹介する展示等を行いました。

○一部をご紹介します

●ミニミニ・コンサート

9月14日は、（公財）鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストの小原舞衣さん（ソプラノ）と矢野奈帆子さん（ハープ）のお二人で“ハナミズキ”“涙そうそう”“映画「アナと雪の女王」より Let it go”“映画「耳をすませば」より カントリーロード”が演奏されました。

9月15日は、みやまコンセール協力演奏家の久保由香理さん（ファゴット）と篠原文子さん（ピアノ）のお二人で“アニメ「サザエさん」メドレー”“映画「アナと雪の女王」よりありのままで”“映画「となりのトトロ」メドレー”“ふるさと”が演奏されました。



矢野奈帆子さん（ハープ）小原舞衣さん（ソプラノ）篠原文子さん（ピアノ）久保由香理さん（ファゴット）

●夢の葉しおりミニ作りと効果音体験



●“ヴァイオリン体験”コーナー



親子でチャレンジした初めてのヴァイオリン

●発見楽しみ工房ミニ「シャドウボックス作り」

シャドウボックスは、同じ絵柄の紙を何枚かカットし立体的に見せる作品です。



●ステージ体験“あなたが主役！”

事前に公募で選ばれた8組の団体が、合唱・リコーダーやホルン演奏・朗読劇・踊り・ダンスを舞台発表しました。

●城西高校合唱サークルは、“私の青空”“信じる”“映

画「アナと雪の女王」より Let It Go～ありのままで～”の3曲を22名の仲間と力を合わせて精一杯歌いました。



平成27年1月12日（月・祝）に上演される、ガラ・フェスティバル ミュージカル「ヤジロウと海^{かい}乱鬼^{らんき}」に今日出演された中から9人が出演します。



中央が“ヤジロウ”役の濱田聖さん（高校3年）

○お客様に感想をお聞きしました

●寺井琴美さん（小学3年） 鹿児島市
「財団フェアのチラシを見て、シャドウボックスを作ってみたくて母と弟と3人で来ました。

ヴァイオリンの体験コーナーでは弓で弾きながら高音・低音を出し分けるのが難しかったです。音が心臓に響いて驚きました。

しおりを作ったり効果音を出したりとても楽しかったです」



福原洋子先生（みやまコンセール協力演奏家）と寺井琴美さん

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
親子で楽しむ

メルヘンコンサート & おはなし会 in 山形屋

9月15日(月・祝) 山形屋文化ホール

かごしまメルヘン館スタッフによる大型紙芝居などの楽しいおはなし会と(公財)鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストによるコンサートは「アナと雪の女王」より「レット・イット・ゴー」「さんぼ」など、子どもたちにとって耳慣れた曲が多く演奏され、満席のホールが一つになって大いに盛り上がりました。



メルヘン館スタッフ



井上美涼さん(ピアノ) 松元愛依さん(ソプラノ) 下園智子さん(ファゴット)

○お客様に感想をお聞きしました

・大迫華さん(小学3年) 鹿児島市
「知らなかったお話を聞いたり指遊びをしたりして楽しかった。ホール中に響く歌声はとっても上手でよかったです。知っている曲が多く私も一緒に歌いました」



大迫姫さん(小学2年) 松元愛依さん 大迫華さん

歴史作家桐野作人講演会

「黒田官兵衛と島津氏」

9月27日(土) 宝山ホール

2014年NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公・黒田官兵衛は薩摩島津家とも深い関係がありました。戦国時代を彩った島津家の人々にも光をあてながらこれまであまり知られることのなかった、黒田官兵衛と島津氏についての講演がありました。

○お客様に感想をお聞きしました

・汾陽(かわみなみ) ゆり子さん 鹿児島市
「『秀吉の九州陣』『九州版関ヶ原』や幕末の話から、NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』では僅かしか描かれなかった黒田家と島津家との関わりが実はおおいにあることを知ることができました。ドラマのエピソードを交えながら資料を分かり易く解説していただき史実を楽しく読み解くことができました。歴史作家の視点からの史実解釈は大変興味深く、2時間半の講演があつという間でとても有意義な時間を過ごすことができ、もっと歴史についての認識を深めたいと思いました」

・福山久美さん 鹿児島市
「講演前半に見せていただいた取材写真でイメージを作り、講演会資料で地図とたくさんの書状資料を解説していただき、島津家と黒田家の両家が意外と長い関わりがあったことを知りました」



福山久美さん(左端)

汾陽ゆり子さん(右端)

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行